

留学体験レポート

21018112 水内能夫

1. はじめに

私は中学生の頃にアメリカという国に興味を持ち、いつかは留学して語学力を伸ばし、日本とは違う多様な文化を自分の体で体験してみたいと思っておりました。しかしながら留学には多大な費用が掛かる上、多くの時間も必要としており、当時は夢のような話でした。しかし大学生になり、新潟国際情報大学の手厚い留学支援制度と家族の応援に背中を押されて留学を決意しました。その結果、数多くの貴重な経験をさせていただくことができました。この留学体験レポートでは留学で体験したことを紹介していきます。

2. アメリカでの生活

アメリカの方々は日本人より紳士的でとても驚きました。寮内には卓球台、ビリヤード台やキッチンがあり、道具を借りて自由に使うことができました。私たちは同じ大学の人同士でルームメイト、スイートメイトを組まされましたが寮の引っ越しは一度のみ可能であったので引っ越しました。希望があれば、外国の方ともルームメイトになることができます。食事は寮の近くの食堂や敷地内から少し歩いたところにある中華料理屋や、敷地内にある寿司屋によく訪れていました。私はあまり現地の食文化になれることができなかったため、週に数回出ている無料シャトルでスーパーへ行き日本食を買っていました。さらに敷地内には大きな図書館や設備が整っている体育館もあったので勉強も運動もしやすい環境でした。さらに、近くには小さなダウンタウンがあり古着屋などもあったので楽しめました。

3. 授業

現地について次の日にはレベル分けのテストがありました。授業はライティング、リーディング、コミュニケーションスキル、グラマー、アメリカンヒストリー・カルチャー、発音、TOEIC などがありました。英語が喋れる日本人の生徒がいたり、外国人の生徒はみな積極的に話しかけてくれたり発言したり、非常に良い刺激になりました。もちろん、すべて英語でしたので留学に行くまでに少しでも多くの単語などを頭に入れておくと勉強にもついていきやすいと思います。また、課題がとても多く、少しでも怠けると朝方までかかることもあり、苦勞しました。1か月ほどで授業にも慣れ、グループワークも外国の生徒と楽しくでき、プレゼンでは時間をかけただけ評価が高くなり、とてもやりがいを感じました。さらに先生方はフレンドリーでやさしい方が多く、授業にスープやお菓子を持ってきてくれる先生もいたのでとても楽しく授業ができました。

4. 課外活動

課外活動では現地の先生方がショッピングや野球観戦、ハロウィーンなど、たくさんの楽しいイベントを用意してくださりました。また、11月にあるサンクスギビングウィークにはニューヨークへ行き、素敵な時間を過ごすことができました。すべての行事やイベントに力を入れていることにアメリカらしさを感じることができました。

5. おわりに

私は今回の留学で本来ならば出会うことのなかった人達との様々な思い出を作れて今までにないくらい充実した時間を過ごすことができました。勉強面でも得意とは言えなかった TOEIC では以前よりスコアが 200 点以上伸び、全てにおいて成長を感じた留学でした。

この留学を支えてくださった家族やすべての先生方に感謝の気持ちをもって今後の学校生活や人生にこの貴重な経験を生かしていきます。